

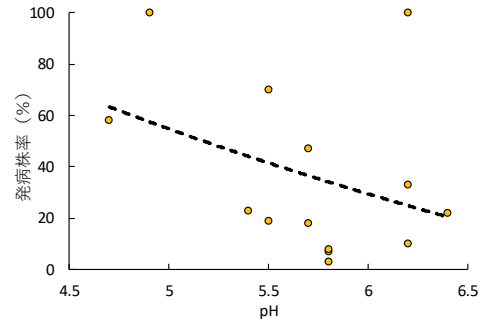
# 土壌pHの適正化で、基礎体力UP！

ブロッコリーの安定生産

～江別市～

## 1 課題設定の背景

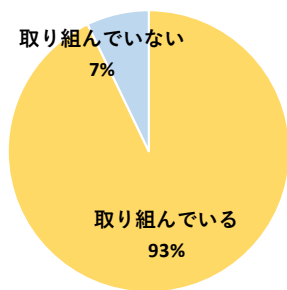
- 江別市は道内トップクラスのブロッコリー産地。
- 近年、短期連作による土壌伝染性病害「根こぶ病」が増加傾向にあり、普及センターでは、H30年より生産部会、JA、中央農業試験場と連携し、ブロッコリーの栽培実態調査を実施した。
- 実態調査では土壌pHが低いほど根こぶ病の発病株率が高いことを確認し、「土壌pHの適正化”目標pH6.0”」に取り組んだ。



低pHほ場ほど発病株率が高まる傾向  
(H30栽培実態調査より)

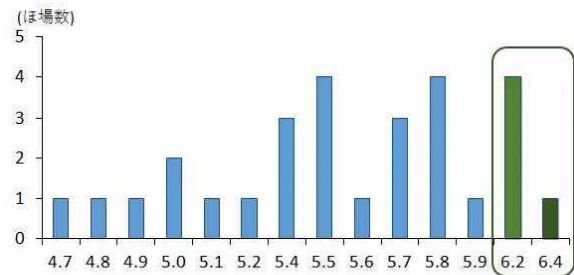
## 2 活動の経過

### 1. 栽培実態調査から（調査28ほ場）



pH矯正への取り組みの有無  
(アンケート調査より)

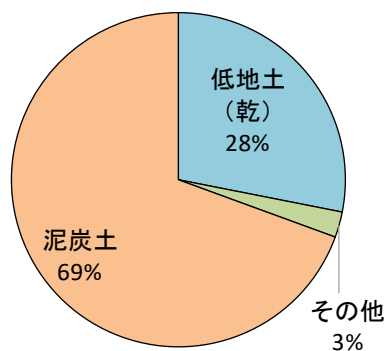
約9割が「pH矯正に取り組んでいる」と回答。  
一方では…



pH6.0以上のほ場は「5ほ場(約2割)」のみ  
→目標pHまで矯正できているほ場は少ない

**土壌pH矯正に苦慮している実態を把握！**

### 2. 土壌pH矯正に苦慮しているのは…




現地実態調査により、土壌の約7割が泥炭土であることを確認  
→単年度の土壌改良では目標pHまでの矯正が困難＝計画的な資材投入が重要

### 3 活動の成果

～根こぶ病対策 安心して作付できる仕組み作りの構築～

ほ場作付リスク  
確認のために...  
簡易植物検定の実施



**リスクが高い場合は作付回避を！**  
それでも作付をする際には

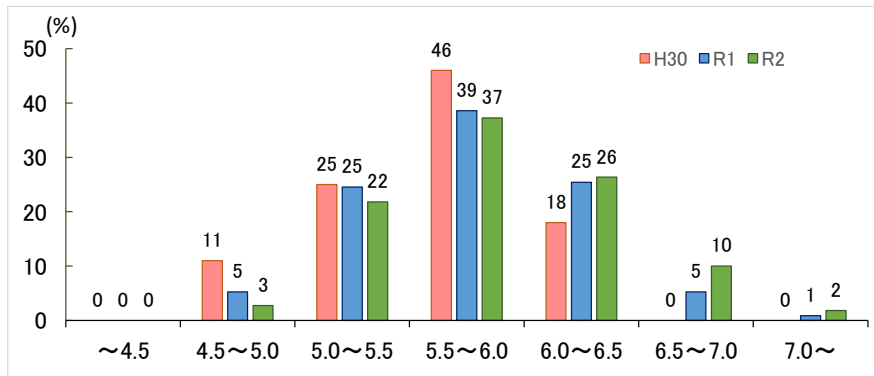
- 薬剤処理（苗かん注、土壌処理）
- 緑肥作物作付

発病リスク高 →

発病リスク小 →

- 計画的な土壌pH矯正の実施  
前年秋+翌年春の2回施用 etc...
- ほ場履歴の記帳

フロチャートを基にしたブロッコリー作付実施の仕組み作りを構築！！



	調査戸数	うち6.0以上	
		戸数	割合
H30	28戸	5戸	18%
R元	54戸	28戸	52%
R2	48戸	29戸	60%

◇土壌pHの推移 (H30~R2 江別市ブロッコリー栽培ほ場土壌診断結果より)

計画的な土壌pH改善取り組みが地域全体に定着

### 4 今後の対応

- 計画的な土壌改良資材投入実施の呼びかけ
- 土壌pH矯正だけでなく薬剤、緑肥作物作付を含めた総合的な根こぶ病対策の実施の呼びかけ



安定した作付の実施

